

# 響き

令和6年11月30日現在	前年比
世帯数	2,773戸 (+2)
男性	3,624人 (±0)
女性	3,832人 (+2)
合計	7,456人 (+2)

発行／荘原コミュニティセンター  
出雲市美川町庄原3835 (電話)72-4600 (FAX)72-4602

つながる荘原 笑顔の未来  
活かそう 人を 歴史を 資源を

## 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、当センターの事業推進に格別のご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、荘原地区の自治会加入率は、ここ数年で大きく低下してきており、現在(R6.4月現在)57.9%です。この低下傾向は荘原地区だけではありませんが、それに伴い地域の団体等の役職の担い手不足や人間関係の希薄化が進むなど、社会の在り様も大きく変わりつつあると感じています。そんな中、地域の皆さんの力で成り立つコミセンの活動や事業の果たす役割は、ますます大切になってくると思います。一人でも多くの皆様にコミセンの活動・事業に参画して頂き、コミセンを中心として荘原の活性化が図れたらと思います。

本年も、活気があり利用しやすく親しみやすい荘原コミュニティセンターとなるよう職員一同努力いたします。今年も変わらぬご支援とご協力のほどよろしくお願いいたします。

皆様のご健康とご多幸を祈念し新年のごあいさつといたします。

荘原コミュニティセンター センター長 原 悟司  
 チーフマネジャー 池淵 陵子  
 マネジャー 小松原由子・糸川 陽子・錦織 陽司

12/11  
(水)

## 出雲圏域健康長寿しまね 推進会議表彰



出雲圏域では、健康長寿日本一となるよう、健康づくり活動に積極的に取り組んでいます。地域で健康づくりを積極的に行っている荘原地区のグループの中から活動年数に応じて3団体が表彰されました。



### 会長賞

### 地域部門 活動期間10年以上

#### 北寿会

毎週水曜日の午後1時30分から北田波自治会公民館で「出雲いきいき体操」のDVDを見ながら、椅子と床の体操を実施している。また出雲市のフレイル予防講座なども利用している。体操の合間には、お茶を飲みながら世間話に花が咲き、楽しいサロン活動となっている。

#### 秋桜サロン

毎回グラウンドゴルフを行ってから、介護予防体操、食生活についての話、消火器の使い方、救急救命法、音楽の集い、しめ縄作り、羽根盆踊り、笑いヨガ、など介護予防に役立つ活動を自治会の枠を超えたメンバーで楽しく取り組んでいる。

#### 幸町サロン

毎回必ず血圧測定、軽体操を行い、その後の時間に保健師さんや消防署の職員さんによる講習会、手作り料理、ゴキブリ団子作り、クリスマスリース作りなど、介護予防はもちろん、高齢者の居場所づくりも目的として、みんなで楽しく活動している。

12/5  
(木)

## 笑顔の未来のために 後の世代へ何をつなげますか……



専門部研修 総務部長 森脇孝充



地域の活性化活動への理解を主題に12月5日専門部研修に22名が参加し、三次市三良坂町自治振興区連絡協議会事務局長 山脇敏幸さんから平成の大合併から今日までの自治振興区としての歩みを説明していただきました。

三良坂町は位置、人口(3100人強)、商店街の趣も直江町と出雲市中心地との関係に似ているように思えました。平成18年に地域の未来ビジョン「きらりみらさか素敵なまちへ」を地域振興課、藤山公氏(元島根県中山間地域研究センター研究統括監)とともに「協働のまちづくり、市

民参加のまちづくり、情報の共有と公開」を原則に策定され、令和2年に改訂され現在に至っています。

94の常会(自治会、1常会は8~18世帯で構成)が有ります。少子高齢化(高齢化率38%、庄原は30%)のため、消防団員の確保、高齢化で自治会単位での脱退、役が当たると個人的に脱退、サークルを構成するメンバーが年齢を重ねるだけで新規加入がなく活動停止等々と課題も抱えています。

そうした中、望みあるまちづくりが動いています。SNSでの情報交換や発信による若者グループ「みらさか族(子育て世代の30代が中心)」の「みらさか祇園祭」への参加、食の町として空き店舗を活用、Cafeにおけるプレイヤーが出現、行列のできる伝統の豆腐屋さん、資源である湖を生かしたオートキャンプ場、桜並木の整理等々。

庄原コミセンにおいてもSNSによる情報の発信(ショートメール、インスタグラムの活用等々)、まちづくり部のタウンミーティングなど多くの人の活動の様子が毎号「響き」に載っています。それでも三良坂と同じような問題が起こっています。

多くの組織が継続に苦勞しています。「働き方改革」を含め社会は変化しています。毎年前例踏襲ではやがて適宜に無理が生じます。現役世代が参加しやすいように組織の再編や新設を含め、組織の内容の精選が必要であると思います。その過程で多様な意見(対面、SNSを含む)

が反映された組織に再生されれば、また多くのプレイヤーによる新旧の多様な取り組みが共有されれば繋がりあうことができるはず。人をいかし、歴史をいかし、資源をいかせればきっと笑顔の未来が待っています。一人ひとりの意見が組織を変え、個々の能力を生かした行動が未来を充実させる時代です。



11/25  
(月)

## 大豆の刈り取り

自主企画事業



荘原保育園・東部保育園の先生方と大豆の刈り取りを行いました。  
今年の夏は猛暑で雨も少なかったため、水やりがとても大変でした(時には1時間以上かけて水やりをしたことも)。それでも部分的に枯れてしまいましたが、この日無事に収穫の日を迎えることができました。この大豆は、1、2月に子どもたちと一緒に味噌として仕込み、後に給食で子どもたちの口に入ります。あの暑い日々を乗り越えた大豆ですから、みんなを元気にしてくれそうですね。

11/6  
(水)

## 「やまももの会」のNHK見学と 美保関ミニ研修について

社会文化部 稲田要子



11月6日「やまももの会社会文化部」の企画でNHK見学と港町美保関のミニ研修を行いました。参加者は36名でした。

9時30分に荘原コミュニティセンターを出発して、2023年3月に放送開始した新NHK放送会館に到着しました。災害に強い、地域の交流拠点、環境にやさしい、という建物の特徴をNHKの係の人から丁寧に説明していただき、島根県産の木材、石州瓦、石州和紙を使った内装も相まって落ち着いた雰囲気です。素晴らしいと思いました。

NHKを後にして美保関に向かうバスでの道中、土砂降りの雨で心配しましたが、美保関に着いた時には幸いにも雨は止んでいました。

昼食後、街歩きガイドさんの解説で、美保神社・青石畳通り・佛谷寺(ぶっこくじ)を見学しました。

美保関港のすぐそばに美保神社の入口を示す大きな鳥居が立ち並び、神聖な雰囲気を醸し出していました。美保神社の歴史は8世紀に遡り恵比寿神を祀っています。

美保神社参拝後、青石畳通り(水に濡れると青みがかかった石畳になる)を数百メートルあるき佛谷寺へ向かいました。

江戸時代に北前船で栄えたこの通りには船問屋が軒を連ね、また船乗りや巡礼者のための旅館も立ち並んでいました。18世紀後半には、船からの物資の運搬のために石畳が敷かれていました。来年後半、NHK朝ドラのモデルとなる19世紀の作家小泉八雲は、その著作の中で美保関の旅館や歓楽街の華やかな光景を描いています。来年の朝ドラで美保関が出てくるといいのにと考えたりもします。

佛谷寺は1200年前に創建された山陰の古刹ですが、簡素な門が周囲に溶け込んでいます。この佛谷寺は承久の乱により失脚した後鳥羽上皇と、元弘の乱により失脚した後醍醐天皇が、隠岐の島に流される時の行在所となった寺です。佛谷寺の大日堂には7軀の仏像が安置され、その内5軀が国の重要文化財です。

最後に、生活体験資料館を見学しました。美保関の廃校となった小学校に、土地柄をあらわす漁業の道具や、人々の生活が伝わってくる民具が展示されています。これらの多くは地元民から寄贈されたものだそうです。

「やまももの会」の皆さんは地元美保関の方の説明に熱心に耳を傾け、たくさん質問して楽しく見学することができました。

多くの関係者の方の協力により、「やまももの会社会文化部」の研修も無事終わり、荘原コミュニティセンターへの帰路に着きました。



11/8  
(金)



## あっという間に完成! 時短、簡単、美味しい料理教室

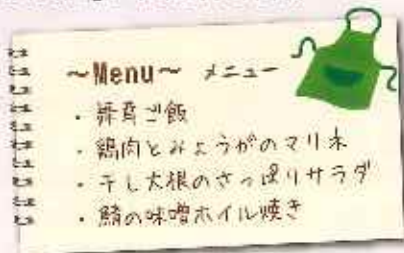
料理部

今年度も「料理工房 創」の周藤明美さんを講師に料理教室を開催しました。

最初に先生から説明を聞いてから取り掛かるのですが、始まると同時にテキパキと動き出すみなさんの姿は、さながら人気レストランの厨房のようでした。

できあがった料理は、みんなでワイワイ、ガヤガヤ楽しくいただきました。

美味しい料理を食べて、ますますパワーアップした「やまももの会」のみなさんでした。



12/7  
(土)

## クリスマス会

喫茶部

～包み込むような柔らかく暖かな音色に包まれたひとときでした。～



年末の恒例となった「やまももの会クリスマス会」を開催し、80人の参加がありました。

今年度は、ゲストに「Saxophone Quartet 結」(サクソフォン カルテット ユイ)のみなさんに来ていただき、「ルージュの伝言」「津軽海峡冬景色」「蘇州夜曲」アンコール曲の「糸」など、様々なジャンルの全8曲を奏でいただきました。

美味しいお菓子と飲み物、若さあふれるメンバーのエネルギッシュな演奏にパワーをいただきました。

何かと慌ただしい年の瀬ですが、日常を忘れ、癒しのひとときを過ごすことができました。

なお当日はフードドライブも実施し、たくさんの食品や日用品が集まりました。集まった品物は社会福祉協議会を通して必要とするみなさんに届けられました。



11/9  
(土)

## 荘原地区防災訓練

荘原地区自治協会・荘原地区災害対策委員会



今年度の防災訓練は、町部自治連合会のブロック分けの「町西(7自治会)」を対象に実施しました。当日は、震度5強の大きな地震が発生したという想定で訓練を行いました。各自治会代表の方、災対役員、荘原地区防災担当市職員に参加いただきました。

訓練では、まず災害対策本部を立ち上げ、災対用LINEやメール、電話等で対象自治会長に災害状況の報告を求めました。各自治会長からの報告をもとに災対本部から避難指示を発令、自治会内の全家庭への避難指示完了後、自治会代表の皆さんに荘原コミュニティセンターへ避難していただきました。

避難してこられた皆さんに、パーテーション・段ボールの簡易ベッド・簡易トイレの組立を実際に体験していただき、その後、防災安全課と建築住宅課の職員に「地震への備えと対応」と題して講話をしていただきました。災害時に働く人間の心理である「正常性バイアス」と「同調性バイアス」が命を脅かす要因の一つになることを学びました。そして、地域みんなで助かるためにまずは自助を、そして、地域や近隣が助け合う共助によって地域の防災力を高めることの大切さが分かりました。また地震への備えとして家具などの転倒防止対策や備蓄など、普段からできる災害への備え等について教示いただきました。訓練をしないと分からないことも多くあり、改めて訓練の必要性を感じました。



12/23  
(月)



## ミニ門松作り

自主企画事業

ふれあい交流部

～新年に年神様を迎えるための日本の伝統を守りたい～



今年も江角俊明さん(斐川町原鹿)を講師にお迎えして、「ミニ門松作り」を実施しました。

この「ミニ門松作り」は、年を追うごとに参加者が増え、リピーターも増えています。

今年は、20代男性の参加もあり、日頃はあまり接点がない参加者同士が交流を深めていました。

参加者は、砂を入れたモウソウチクの器に真竹、松、梅、南天、稲穂などを飾り付け、彩り鮮やかな「ミニ門松」が完成しました。折り紙で扇に鶴の飾りを参加者の人数分作ってくださった方もあり、一段と華やかな「ミニ門松」になりました。



11/12  
(火)11/21  
(木)11/22  
(金)

# 明治安田生命セミナー

ふれあいサロン  
おいでませの会



## 「人生100年時代 自分の人生は自分で選ぶ!創る! ~フレイル予防編~」

11月の「おいでませの会」は、初めての試みとして明治安田生命の社員さんに来ていただき、セミナーを受講しました。フレイルとは、要介護状態に至る前段階として位置づけられ、身体的・精神的に弱っていき、様々な健康障害を招きやすい状態のことです。

今回、フレイル予防のためにできることとして、食事、運動、睡眠、薬について気をつけること、フレイルチェック、頭の体操(指さき体操、まちがい探しなど)、低栄養予防について学びました。

フレイルについて繰り返し学び、自分のこととして行動することが大切だと感じることができました。



みっかり  
ましたか?

まちがい探し



血管年齢チェック

お元気  
ですね!



指さき体操

12/10  
(火)12/19  
(木)12/13  
(金)

## お正月飾り、クリスマスリースを作って 年末年始を華やかに……

12月の「おいでませの会」は、例年通り各班で決められた活動を行いました。

1班と2班は、お正月飾りを3班はクリスマスリースを作りました。

どの班もボランティアのみなさんが前もって準備作業をしていて、当日はスムーズに作業に取り掛かることができました。

「おいでませの会」は、今年もみなさまのご協力で計画通り無事に終えることができました。



きれいに  
出来ました!



12/17  
(火)

## 地域小サロン

### しめ縄作り 羽根東ふれあい会館秋桜



12月のサロンは、しめ縄作りを行いました。しめ縄作りの得意な会員から指導をしてもらいながら和やかな雰囲気の中で近況を話しながらの作業で、時に笑い声が響き渡りとても楽しい時間になりました。

古くからの伝統を守り続け、次代へ繋げていくことの大切さもこのサロンを通して感じました。自分で作ったしめ縄を飾って迎える新年が良い年でありますように祈りを込めて。



12/13  
(金)

## 荏原なかよしおはなし会

## 荏原子ども教室

### なかよしおはなし会にサンタクロースがやってきた



12月のなかよしおはなし会はクリスマス会でした。子どもたちと、クリスマスにちなんだ絵本を読んだり、一緒にクリスマスソングを歌ったりして楽しく過ごしました。クリスマス会が終盤にさしかかると、子どもたちも何だかそわそわ。そして遂に、サンタクロースの登場です!歓声と共にサンタさんを迎え、一人ひとり、プレゼントを受け取りました。みんな笑顔の楽しいクリスマス会となりました!

#### なかよしおはなし会

開催日時：毎月第2金曜日 15時45分から  
開催場所：荏原コミセン おいでませ館  
※乳幼児から小学3年生くらいまでが対象で、どなたでも参加できます!  
※参加申し込みは不要です  
※開催日時および開催場所を変更する場合があります  
お問い合わせ 荏原コミセン 電話72-4600まで



12/24  
(火)



## 歳末パトロール ~青色防犯パトロール隊~

荏原地区青少年育成協議会  
荏原子どもの安全を守る会



小学生の下校に合わせ、24日は14時から、25日は11時30分から、荏原地内の各所を巡回していただきました。巡回した皆さんから、下校する子どもたちが「ありがとうございます」「お疲れ様です」「良いお年を!」などの言葉をかけてくれて嬉しかったという話を聞くことができました。

見守り隊、青パト隊の皆様には、日頃から児童の下校時の安全確保や地域の防犯に尽力いただいています。本当にありがとうございます。



### 見守り活動 ありがとう 松本 需さん



松本さんは、平成17年から今年度10月までの約20年間「主要地方道斐川一畑大社線(原道23号線)」の押ボタン式信号機の横断歩道で、子どもたちの登校時の見守り活動を行われました。雨の日も雪の日も、都合の悪い日以外は毎日出かけて、朝の車の多い時間帯に、通学車が安全に横断できるように見守ってくださいました。本当にありがとうございます。

### 青パト隊・見守り隊 隊員募集中!!

緑のジャンパーを着た方や青色の防犯ランプをつけた車を街中で見かけられることがあると思います。地域の安全は地域のみんなです。守っていくという有志の方の協力によって、見守り活動は維持されています。青パト隊、見守り隊の皆さんの活動は、まちの安全安心確保と犯罪の抑止につながっています。

協力していただける方を随時募集しています。

詳しくは、荏原コミセンへ電話72-4600(火)までお問い合わせください。

